

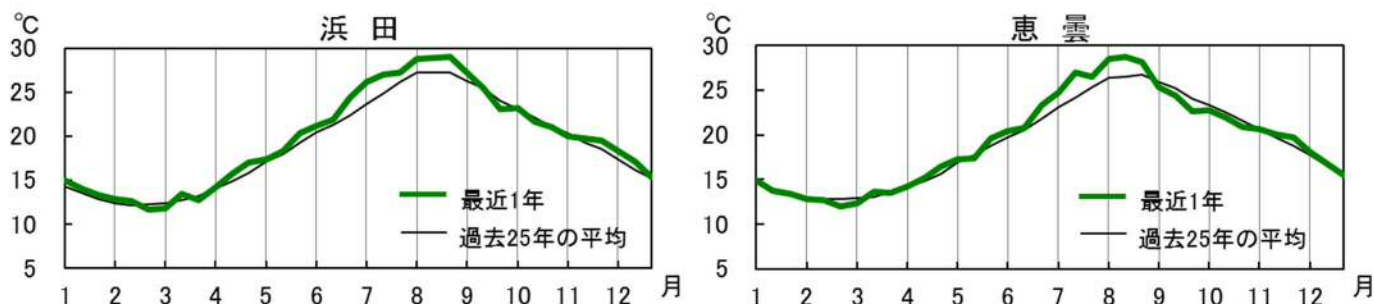


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《12月の海況》



12月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	かなり高め	16.9°C	+0.6°C	やや高め	16.8°C	+0.0°C
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		



《12月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の6割、サバ類は平年の1割でした。隠岐地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は13.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは317トンで平年の1.7倍、ブリは411トンで平年の2割でした。また、イワシ類は、ウルメイワシは28.9トンで平年の7割、マイワシ、カタクチイワシはほとんど漁獲されませんでした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.0kgで平年を下回りました。西郷地区(属人5トン以上)では漁獲がありませんでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アナゴ・ハモ類、ムシガレイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は16.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、キダイは平年の1.2倍、アナゴ・ハモ類は平年の1.6倍、ムシガレイは平年の8割でした。その他、マダイは平年の1.8倍、カマス類は平年の1.4倍、マトウダイは平年の1.3倍、アンコウ類は平年の1.1倍と好調であった一方、アカムツは平年の9割、マアジは平年の7割、ソウハチは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではニギス、アンコウ類、ソウハチ主体の漁況で、総漁獲量は126トンでした。1統1航海当りの漁獲量は824kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ニギスは平年の1.4倍、アンコウ類は平年の5割、ソウハチは平年の2割でした。その他、チダイは平年の2.9倍と好調でしたが、キダイは平年の8割、マトウダイは平年の7割、ヤリイカは平年の5割、アナゴ・ハモ類は平年の4割、マダラは平年の3割、アカムツは平年の2割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、サワラ類、スズキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は12.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.5倍、サワラ類は平年の6割、スズキは平年の1.2倍でした。石見地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は7.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の6割、マアジは平年の5割でした。隠岐地区ではマアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の5.6倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は29.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、サワラ類は平年の3割でした。石見地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は18.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の3割でした。隠岐地区では、ブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は30.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の5割でした。

【令和4年12月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様(◎、○、▲)の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ブリ類、マアジ	779トン	38%	33%	13.0トン	45%	34%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	0.1トン	16%	1%	21.0kg	71%	24%
	西郷	—	—	—	—	—	—	—
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アナゴ・ハモ類、ムシガレイ	265トン	95%	86%	16.6トン	124%	110%
小型 底びき網	大田	ニギス、アンコウ類、ソウハチ	126トン	63%	48%	824kg	106%	94%
定置網 (大型)	出雲	ブリ、サワラ類、スズキ	151トン	117%	83%	12.6トン	107%	78%
	石見	サバ類、マアジ	29.3トン	103%	57%	7.3トン	103%	54%
	隠岐	マアジ	15.2トン	272%	100%	5.1トン	272%	100%
釣り・縄	出雲	サワラ類	12.6トン	59%	44%	29.1kg	84%	84%
	石見	ブリ	7.1トン	25%	26%	18.5kg	54%	69%
	隠岐	ブリ	9.0トン	35%	47%	30.3kg	75%	99%

※ 平年比：過去5年(沖底のみ10年)の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ